

マクレーンシート敷設手順

防草効果を最大限に発揮するには敷き方も重要です。現場状況によって多少作業が異なる場合がございます。



① 施工前に草刈・整地

雑草を刈り払い、浮き石などを取り除き平らにしてください。
状況に応じて、雑木の繁茂している所は根を取り除き平らに整形してください。
**※雑木等の切り株が地上部より出ていると、
防草シート敷設時にシート上に乗った際、突き破る恐れがあります。**



② 測量、割り付け

敷設場所を測量し割り付けを行う。
**※マクレーンシートは透水性がないため全面貼りを推奨しておりません。
全面貼りする際は排水処理を十分考慮して行ってください。**



③ シート裁断

割り付け計画に基づいて、シートをネジ固定式の cutter で裁断する。
**※カットは二段階(1回目: 切り跡を付ける。2回目: 切り跡を辿り裁断。)で行うと
裁断しやすくなります。**



④ シート拡布(タテ敷きを標準とする)



1. シート端部(保護砂無し部)にマクレーン両面テープを貼付する。(この時、離型紙は剥がさない。)
2. シートを拡布する。
3. 拡布したシートをピンで仮止めする。
4. マクレーン両面テープの離型紙を剥がして圧着する。
※マクレーン両面テープを使わない場合はバーナーで加熱溶着してください。



⑤ ピン位置マーキング、ピン打設

1. ピン打設位置にマーキングする。
2. アンカーピンを打設する。(標準敷設図参照)

※現場状況に応じてピンの長さを変更下さい。

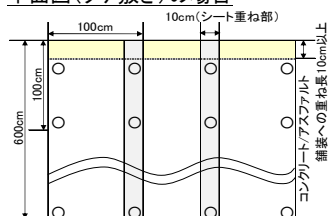
また、シートが浮いている箇所には適宜増し打ちして下さい。

3. シート終端部は、接合部無し(全面砂タイプ)のシートを敷設する。接合部有シートの場合は、(砂なし部)のみカットする、もしくは、両面テープを貼り付けて砂をまぶすのいずれかの方法にて敷設する。

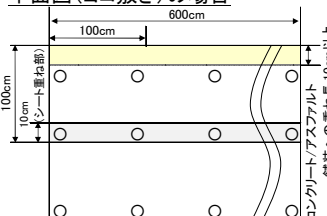
※裸地とシートの境界部が強風によって捲れる虞がある場合は、ピンの長さ変更、増し打ちや風捲れ対策資材「ハリケンネット」の使用、溝を掘りシート端部を埋めるなど対策ください。

- : アンカーピン
- : プライマー(舗装部)
- : 両面テープ(シート下)

平面図(タテ敷き)の場合



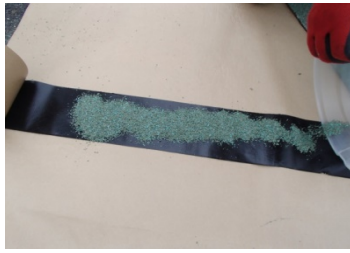
平面図(ヨコ敷き)の場合





⑥ ピン頭部の処理(景観性向上による処理)

1. マクレーン両面テープを一定長拡布する。
2. 保護砂を両面テープの上にあぶり転圧する。(保護砂付きテープにする。)
3. テープを口10cmにカットする。
4. テープの離型紙を剥がしピンを覆うようにして貼付け転圧する。



⑦ 下地清掃(コンクリート、アスファルト舗装へのラップ部)

1. シートをラップする構造物の清掃準備を行う。
(アンカーピンを構造物際に半分打設してシート端部を浮かせておく)
2. ワイヤブラシにて構造物を清掃する。(清掃幅10cm以上)



⑧ プライマー塗布

舗装面にプライマーPR1を塗布し、乾燥させる。
※乾燥時間目安: 夏期20分以上、冬期40分以上



⑨ シート貼付

1. シート裏面をバーナーで炙り、粘着アスファルト層を溶融させる。
 2. ゴムハンマーで転圧する。
- ※舗装が荒れている場合など必要に応じてアスファルト端部専用ピンを打設する。
(コンクリートの場合は、コンクリート端部専用ピン)



⑩ 構造物際処理方法



1. 構造物をワイヤブラシで清掃しプライマーを塗る。
 2. 構造物に沿って切り込みを入れシートを立ち上げる。
 3. シート裏面をバーナーで加熱し構造物に接着させる。
 4. ゴムハンマーで転圧する。
 5. 構造物と隙間が生じる場合は、シート断片を当て布し同様に接着させる。
- ※支柱部は防草ラバーコートを使用する。



⑪ 完成

シート敷設完了。